

Title	中村勝範教授略歴；中村勝範教授著作目録
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾大学法学研究会
Publication year	1995
Jtitle	法學研究：法律・政治・社会 (Journal of law, politics, and sociology). Vol.68, No.1 (1995. 1) ,p.539- 546
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	中村勝範教授退職記念号
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00224504-19950128-0539

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

中村 勝範 教授 略歴

略 歴

- 昭和四年 四月一八日 長野県に生まる
- 昭和二八年 三月 慶應義塾大学法学部政治学科卒業
- 昭和三〇年 三月 慶應義塾大学大学院修士課程修了
- 昭和三〇年 四月 慶應義塾大学法学部助手
- 昭和三三年 四月 慶應義塾大学法学部助手
- 昭和三五年 九月 慶應義塾大学法学部助教
- 昭和四一年 三月 慶應義塾大学より法学博士の学位を受ける
- 昭和四二年 三月 慶應義塾大学法学部教授
- 昭和五〇年 欧米留学
- 昭和六〇年一〇月―平成元年九月 慶應義塾大学法学部企画委員長を二期務める
- 昭和六三年一〇月―平成四年三月 慶應義塾大学法学部政治学論究編集委員長を務める
- 平成二年 四月―同 五年九月 慶應義塾大学法学部人事委員長
- 平成三年一〇月―現在 慶應義塾大学法学研究編集委員長

学会及び社会活動

- 昭和六〇年一〇月―現在 政治研究桜田会賞審査委員

昭和六一年四月―現在 大麻唯男伝記研究会長

昭和六一年一月―平成五年三月 港区議会史編纂委員会編集委員長

昭和六二年七月―平成四年三月 文部省大学設置審議会専門委員(六二年九月より文部省大学設置・学校法人審議会専門

委員に改組)五期務める

昭和六三年四月―現在 日本政治学会理事(三期目)

平成四年四月―現在 法制史学会理事(二期目)

中村 勝範 教授 著作目録

I 著 書

(共著)

- | | | |
|----------------------------|-------------|-------|
| 『議会政治を擁護するために』 | 社団法人民主主義研究会 | 昭和三七年 |
| 『日本福祉国家の条件』 | 春秋社 | 昭和三八年 |
| 『日本の労働組合の政治活動』 | 社団法人民主主義研究会 | 昭和三九年 |
| 『神奈川県労働運動史(戦前編)』 堅山利忠編 | 神奈川県労働部労政課 | 昭和四一年 |
| 『民主社会主義の歴史と理論』 | 中央公論社 | 昭和四一年 |
| 『日本社会主義政党史』 | 経済往来社 | 昭和四一年 |
| 『日本の選挙構造』 | 原書房 | 昭和四三年 |
| 『国民的合意の条件——民主主義の擁護——』 | 原書房 | 昭和四三年 |
| 『日本における政党と政治意識』 | 慶應通信 | 昭和四六年 |
| 『民主連合政権』 | 千代田永田書房 | 昭和四八年 |
| 『左翼全体主義——その理論と実態——』 | 民主社会主義研究会 | 昭和四九年 |
| 『中村菊男先生追悼論文集』 | 新有堂 | 昭和五三年 |
| 『大系民主社会主義 第一巻』 民主社会主義研究会議編 | 文藝春秋 | 昭和五五年 |
| 『大系民主社会主義 第二巻』 民主社会主義研究会議編 | 文藝春秋 | 昭和五五年 |
| 『消された英雄たち』 | プレジデント社 | 昭和五六年 |

『日本政治の実力者たち リーダーの条件三』

『近代日本政治の諸相——時代による展開と考察——』

『各国政治制度概説』

『現代政治学事典』大学教育社編

『港区議会史通史篇』

(単著)

『明治社会主義研究』

『現代文化人論』

『現代文化人論』第二巻

『宮本顕治論』

有斐閣 昭和五六年

慶應通信 平成元年

慶應通信 平成二年

ブレーン出版 平成三年

東京都港区議会 平成五年

世界書院 昭和四一年

慶應通信 昭和四四年

慶應通信 昭和四八年

千代田永田書房 昭和五三年

II 学術論文

(共著)

『地方選挙人の政治意識——三重県鳥羽市国崎町における実態調査——』

『社会的地位と政治意識——三重県鳥羽市安楽島町における実態調査——』

『農村における公的意思決定の方式（共有林分割をめぐる事例の研究）

——三重県鳥羽市松尾町における実態調査（一）——』

『新人会成立の背景』

『「デモクラシイ」の思想』

『「同胞」の思想』

『「ナロード」の思想』

『「同胞」時代の新人会の活動』

『法学研究』二九巻一〇号 昭和三二年

『法学研究』三〇巻一二号 昭和三二年

『法学研究』三四巻一号 昭和三六年

『法学研究』五一巻五号 昭和五三年

『法学研究』五一巻二号 昭和五四年

『法学研究』五一巻一号 昭和五四年

『法学研究』五三巻四号 昭和五五年

『法学研究』五三巻四号 昭和五五年

『法学研究』五三巻四号 昭和五五年

- 「社会民衆党の成立過程——独立労働協会から政党組織準備委員会まで——」
 「社会民衆党の創立」
 「社会民衆党の精神」
 「社会民衆党の第一年」
 「鈴木文治と工場法」
 「社会民衆党昭和二年党大会提出議案」
 「社会民衆党の中国国民革命への対応——南京政府成立まで——」
 「大正デモクラシーの一断面——黎明会の研究——」
 「黎明会創立における大正デモクラシーの一齣」
 「宮本顯治論——日本共産黨の指導者——」
 「黎明会とその漸進主義」
 「黎明会と福田徳三」
 「社会変動とデモクラシー」
 「大正デモクラシーと黎明会——黎明会第四回講演会を中心に——」
 「黎明会大阪講演会における主張の変化」
 「三・一事件と黎明会」
 「『激動の時代』と黎明会」
 「文明に逆行した労働運動」
 「労働運動における量と質」
 「吉野作造の人道主義的労働運動観」
 「労働者と知識人——治安警察法第十七条をめぐる——」
- 『政治学をめぐる諸問題——鶴沢義行博士古稀記念論文集——』
 『法学研究』四二巻 七号 昭和四四年
 『法学研究』四三巻 一〇号 昭和四五年
 『法学研究』四四巻 二号 昭和四六年
 『法学研究』四四巻 六号 昭和四六年
 『法学研究』四七巻 八号 昭和四九年
 『法学研究』四九巻 五号 昭和五一年
 『法学研究』四九巻 七号 昭和五一年
 『法学研究』五八巻 二号 昭和六〇年
 『東亞研究』第九輯別冊 昭和六一年
 『法学研究』五九巻 二二号 昭和六一年
 『法学研究』六〇巻 一号 昭和六二年
 『法学研究』六〇巻 二二号 昭和六二年
 『法学研究』六一巻 一号 昭和六三年
 『法学研究』六一巻 五号 昭和六三年
 『法学研究』六一巻 二二号 昭和六三年
 『法学研究』六一巻 四号 平成元年
 『法学政治学論究』第一号 平成元年
 『法学研究』六二巻 二二号 平成元年
 『法学研究』六三巻 二二号 平成二年

「衝撃と反応——治安警察法第十七条をめぐる」

『教養論叢』八七号 平成三年

「翼賛選挙と旧政党内」

『法学政治学論究』一〇号 平成三年

「東京砲兵工廠の同盟罷業と治安警察法第十七条——黎明会研究に關連して——」

『法学研究』六五卷 一号 平成四年

「治安警察法第十七条適用の背景と底流——『陸軍省密大日記』を手がかりに——」

『法学研究』六五卷 三号 平成四年

「黎明会の治安警察法第十七条撤廃講演会」

『法学研究』六六卷 一号 平成五年

「森戸辰男事件序論」

『教養論叢』九三号 平成五年

「国家と文化の対立——森戸辰男事件をめぐる——」

『法学研究』六六卷 七号 平成五年

「森戸辰男事件と黎明期学生運動」

『教養論叢』九五号 平成六年

「森戸事件と吉野作造の『クロボトキン論』」

『法学研究』六七卷 八号 平成六年

III 書評

(共著)

石堂清倫・堅山利忠編『東京帝大新人会の記録』

『法学研究』四九卷一〇号 昭和五一年

(単著)

中村菊男著『民主社会主義の思想』、内山正熊著『国際政治学序説』

『三田政治学会誌』第三七号 昭和二八年

中村菊男著『明治的人間像——星亨と近代日本政治——』

『法学研究』三一卷一・三合併号 昭和三三年

中村菊男著『伊藤博文』

『法学研究』三三卷 二号 昭和三四年

ハイマン・カプリン編著『明治労働運動史の一齣——高野房太郎の生涯と思想——』

『法学研究』三三卷 一号 昭和三五年

関山直太郎著『初期社会主義資料——牟婁新報抄録——』

『法学研究』三三卷 三号 昭和三五年

河野密著『日本社会政党史』

『法学研究』三四卷 四号 昭和三六年

吉岡金市著『森近運平』

『法学研究』三四卷 六号 昭和三六年

労働運動史研究会編『新紀元』

『法学研究』三四卷 九号 昭和三六年

柳田泉著『日本革命の予言者 木下尚江』

筑波常治著『日本人の思想——農本主義の世界』

中村菊男著『松岡駒吉伝』

総同盟五十年史刊行委員会編『総同盟五十年史第一巻』

矢部貞治著『矢部貞治日記銀杏の巻』

H・スミス著、松尾尊発、森史子訳『新人会の研究』

『法学研究』三四巻一二号 昭和三六年

『法学研究』三五巻三号 昭和三七年

『法学研究』三七巻三号 昭和三九年

『法学研究』三八巻一〇号 昭和四〇年

『法学研究』四八巻一号 昭和五〇年

『法学研究』五二巻五号 昭和五四年

IV 総目次と解説

週刊新聞『直言』

『光』

『批評』

週刊新聞『大衆運動』

『微光』

『ダイナミック』

『法学研究』三二巻八号 昭和三四年

『法学研究』三三巻六号 昭和三五年

『法学研究』三五巻一号 昭和三七年

『法学研究』三五巻六号 昭和三七年

『法学研究』三九巻三号 昭和四一年

『法学研究』四九巻一二号 昭和五一年

V 研究報告

「宮本顕治論——日本共産党の指導者——」

一九八六年韓国西江大学東亜研究所主催第二回アジア政治文化会議 昭和六一年

「大正期における民主主義思想の形成」

一九八七年度日本政治学会総会 昭和六二年

「国際共産主義運動の趨勢」

一九八八年第一五回日華大陸問題研究会議 昭和六三年

「翼賛選挙の一考察——議会開設百年に関連して——」

一九九一年度日本選挙学会総会 平成三年